

# しばたの景観

～歴史を未来へつなぐ景観づくり～

## 新発田市歴史的景観形成建造物とは

私たちの街には、歴史の面影を今に伝える美しい建物が数多く残されています。市では、良好な景観をつくる上で特に重要な役割を果たしている建造物を「新発田市歴史的景観形成建造物」として指定し、地域の貴重な財産として後世へ受け継いでいく取り組みを平成29年から行っています。

現在、10件の建造物を指定しています。その一部をご紹介します。



## 【新発田市歴史的景観形成建造物】 杉原家住宅主屋

### 庄屋代理の格式を今に伝える、歴史的景観のシンボル

明治32年に建てられた木造2階建ての建物です。屋根は「棧瓦葺（さんがわらぶき）」の「切妻造（きりづまづくり）」で、間口（建物の横幅）約25メートル、奥行き約16メートルという堂々たる規模を誇ります。かつて庄屋代理を務めた歴史を物語るように、玄関は家人用と客人用に分けられており、今なお高い格式を感じさせます。



## 【新発田市歴史的景観形成建造物】 杉原家住宅土蔵

### 明治18年築、圧倒的な存在感を放つ黒漆喰の土蔵

明治18年に建てられたこの土蔵は、地上2階・地下1階の「切妻造（きりづまづくり）」という、当時としては非常に堅牢な構造を誇ります。建物の側面（妻側）には誇り高く家紋が掲げられ、外壁は重厚感あふれる黒漆喰（くろしゅくい）仕上げ。腰壁はモルタル塗りで、強固さと格式を兼ね備えた外観が目を引きまます。

#### 所在地の案内図



※出典：地理院地図に追記して掲載

杉原家住宅主屋・土蔵は、令和8年6月20日（土）・21日（日）に特別公開されます。

その他の歴史的景観形成建造物は、新発田市ホームページをご覧ください。





新発田市では「新発田らしい景観づくり」を支援するため、景観計画に基づき、良好な景観形成に貢献する建築物などの修景（※）費用を一部補助しています。この制度を活用して整備された事例として、「寺町通りの板塀」の修景工事をご紹介します。

次ページでは、具体的な補助メニューをご案内します。

※修景とは、周囲の景色に調和するよう建物の外観を整えることです。



## モルタルから、趣ある板塀へ

経年劣化した塀を、温もりある板塀にリニューアル。

周囲と調和する城下町らしい連続性が、通り全体に心地よい一体感を生んでいます。

身近なところから始める景観づくり  
小さな工夫が、まちの魅力を育てます

軒先の鉢植えや季節の花壇など、小さな工夫で街並みは変わります。  
無理のない範囲で、身近な景観づくりに取り組んでみませんか？



※このイラストは生成AIを活用して作成したイメージです。

# 「景観形成支援補助金制度」のご案内

補助率は工事費の3分の1以内です。



建物の新築・修繕  
上限50万円



外壁の塗り替え  
上限10万円



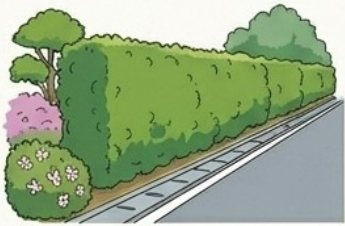
石垣の設置  
上限15万円



板塀の設置  
上限15万円



門の設置  
上限15万円



生垣の設置  
上限15万円



設備の遮へい  
上限10万円

※掲載イラストは生成AIを活用して作成したイメージです。

## 補助対象エリア

補助対象エリア	範囲（道路中心線から）
歴史景観エリアの歴史景観重要道路沿いの敷地 市道新発田川添線(一部区間)沿いの敷地	両側20mの範囲内
清水園前交差点から諏訪神社および蔵春閣前までの区間沿いの敷地	両側25mの範囲内

お問い合わせ先  
新発田市役所 建築課 景観行政係  
電話番号：0254-26-3557

「景観形成支援  
補助金制度」の  
詳細はこちら

